

レジメン名

bevacizumab+FOLFOXIRI

出典 Lancet Oncol 2015;16:1306-15

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	--	-----------------------------

投与減量の基準

好中球	500/mm ³ 未満	PLT	50000/mm ³ 未満
その他	G2末梢神経障害, G3以上の下痢		

対象疾患

<input checked="" type="checkbox"/> 結腸・直腸癌 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前) <input type="checkbox"/>
--

投与中止の基準

好中球	1500/mm ³ 未満	PLT	100000/mm ³ 未満
Cr	1.5mg/dL以上	Hb	9g/dL未満
AST, ALT	100IU/L以上※		
その他	治療前にUGT1A1遺伝子多型有無確認 神経毒性、アレルギーに注意 間質性肺障害の有無 Grade3以上の高血圧、Grade4以上の蛋白尿 ※肝転移の場合は200IU/L以上		

1コース期間 14日
(次のコースまでの標準期間)総コース数
12コースまで※

※その後はBmab+sLV5FU2でPDまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)	1日投与順 (経時的にプレパレーション・ポストプレパレーション)
ペバシズマブ	5mg/kg	NS100mL	初回90分※	day1	①生食50mL ルート確保用
フルオロウラシル(持続静注)	3200mg/m ²	持続静注	48時間	day 1	②アバスタチン5mg/kg+生食100mL(90分※) (2回目以降30分まで短縮可)
レボホリナート	200mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1	③アロキシバック(0.75mg)+デキササート9.9mg (15分)
イリノテカン	165mg/m ²	点滴静注	1時間	day 1	④イリノテカン165mg/m ² +5%糖液250mL (1時間)
オキサリプラチン	85mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1	⑤エルプラット85mg/m ² +5%糖液250mL (2時間)
※初回90分で忍容性が良好であれば2回目60分、3回目以降は30分まで投与時間の短縮可能					⑤'レボホリナート200mg/m ² +5%糖液250mL (エルプラットと同時に)(2時間)
					⑥生食50mL フラッシュ用
					⑦5-FU3200mg/m ² +生食αmL 計150mL (インフューザーポンプ使用にて48時間で投与)
					<内服> day1から4日間 ウルソデオキシコール酸(100)3錠 3×毎食後 炭酸水素ナトリウム 1.8g 3×毎食後 (遅発性下痢の予防目的)
					day2及び3 デカドロン(4mg)2錠 2×朝食後 内服 必要に応じて、アプレビタント併用